

事業継続・展開支援補助金（販路開拓支援型）実績報告書

横浜市長

交付決定を受けた標記補助金について、事業継続・展開支援補助金（販路開拓支援型）交付要綱第13条第1項の規定に基づき、次のとおり報告します。

1. 報告者の情報

次の欄へ記入してください。補助金の申請者と同じ内容です。
変更がある場合は、事前に変更承認申請書の提出が必要です。

申請日（書類発送日）

令和3年9月2日

法人名又は屋号（※）	株式会社横浜市経済局	個人事業主の場合 （※）欄の記入は 該当する場合のみ
代表者役職（※）	代表取締役	
代表者氏名	横浜 花子	
本社所在地 法人登記簿記載の本店 又は 開業届記載の主な事務所	〒4 横浜	

【注意点】

- ・写真や図面など内容が分かるものを添付してください。
- ・資料化する際は、A4 1枚～2枚程度を目安としてください。

2. 補助対象の取組内容

① 具体的な取組内容を記入してください。

実施内容が分かる写真や図面など補足資料を添付してください。

当社では新商品である「●●」の開発を進めており、外部委託により訴求力の高いパッケージデザインを制作した。また、「●●」の発売をホームページ上でPRするため、外部委託により動画及びホームページを制作した。

補足資料①：パッケージデザイン写真

補足資料②：ホームページ画面ハードコピー

URL…<https://www.●●.com>（同ページに動画を掲載しています）

② 取組による効果を記入してください。

実施して開拓できた販路、販売方式、商品・サービスなど

新商品：当社の「▲▲」を小型化し、一般消費者向けに販売する新商品「●●」を開発することができた。

新たに開拓する販路：令和3年5月30日にホームページ上でのPRを開始し、一般消費者向けの認知度向上を図っているところで、今後構築するECサイトでの販売につなげる。

③ 今後の展開を記入してください。

今回の取組を踏えた、今後に向けた事業展開イメージ等

新商品「●●」については、ホームページ上でのPR及びECサイトにて一定の実績を検証した後、実店舗での販売へ展開するため、商業施設・小売店等への営業活動に取り組んでいく。

3. 実施期間

取組開始日（取組の中で一番早い見積日や契約日など）と、
取組完了日（取組の中で一番遅い支払日。前払いの場合は一番遅い実施日。）を記入
してください。令和3年4月1日～令和4年1月31日の期間内となります。

取組開始日

令和3年7月1日

取組完了日

令和3年8月31日

4. 収支決算書

注意事項を確認の上、**支出と収入の内訳を記入**してください。

注意事項

- (1) **1 契約毎に 1 行**記入してください。
- (2) 補助対象経費に、**補助対象外の経費（設備、備品、消費税、旅費、食糧費、光熱水費、保険料 等）**が含まれていないことを確認してください。
- (3) 下表の「支出の部」**補助対象経費 合計（ア）**と「収入の部」**合計（イ）**は**同額**となります。
- (4) 「補助対象経費」には、「**領収書等の明細**」と同じ**経費名**を記入し、
「補助対象経費」の**番号を「領収書等の明細」の経費名の横**に記入してください。

支出の部	補助対象経費	支払い先	税抜き	
			の金額	
①	パッケージデザイン制作委託	株式会社■■■		円
②	PR動画・ホームページ制作委託	有限会社●●●		円
③				円
④	【注意点】 ・消費税は対象外のため、税抜きの金額を記載してください。 税額が不明な場合は、1.1 で割り返して算出してください。（1 円未満切り捨て） ・助成金の対象となる経費のみを記載してください。 ・10 契約以内を補助対象とします。			円
⑤				円
⑥				円
⑦				円
⑧				円
⑨				円
⑩				円
補助対象経費 合計（ア）			380,000	円
収入の部	補助金交付申請額			円
	上記（ア）× 2/3（※千円未満切り捨て）ただし 20 万円以下		200,000	円
	自己資金		180,000	円
	その他（借入金等ある場合は記載）			円
合計（イ）			380,000	円

5. 添付書類

- (1) 経費の支出を証する書類（領収書の写し等で、内訳がわかるもの）
- (2) その他市長が必要とする書類

【注意点】

・P. 20 の注意点を参照の上、領収書等を添付してください。